



2020年6月18日

各 位

会社名	大同工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 新家 啓史
(コード番号)	6373 東証第一部)
問合せ先	上席執行役員 管理本部長 眞田 昌則
(TEL	0761-72-1234)

営業外費用（為替差損）及び特別損失の計上について

2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）において下記の通り営業外費用及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

2020年3月期連結会計年度において、為替相場の変動により、営業外費用に為替差損480百万円を計上いたします。これは、主に2020年3月期連結会計年度末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

2. 特別損失の計上について

2020年5月21日に発表の「特別損失の計上、業績予想の修正、配当予想の修正及び役員報酬の減額等に関するお知らせ」でご報告いたしました1.特別損失の計上について、数値が確定いたしましたのでお知らせいたします。

2020年3月期連結会計年度において、経営環境の変化等の影響を受け継続して営業損益の悪化となっている当社及び連結子会社（インド、ベトナム、フィリピン等の各拠点）の一部の固定資産（設備機械等）について、特別損失として減損損失を計上いたします。（連結：1,957百万円、個別：1,163百万円）

また、当社はこれに伴い、関係会社株式・出資金のうち、実質価額が著しく低下した子会社（ベトナム、フィリピン等の各拠点）の株式・出資金について減損処理を実施し、関係会社株式評価損467百万円、関係会社出資金評価損198百万円を計上いたします。（個別）

さらに、当該連結子会社（インド拠点）に対する貸付金に関して貸倒引当金の計上が必要と判断したことから、特別損失として関係会社貸倒引当金繰入額841百万円を計上いたします。（個別）

なお、個別決算において、関係会社株式評価損、関係会社出資金評価損、関係会社貸倒引当金繰入額を特別損失として計上するものの、大部分は、連結決算上消去されるため、連結決算に与える影響は限定的であります。

3. 業績に与える影響

上記為替差損及び減損損失の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上